

# 大津 エンパワ ねっと通信



龍谷大学「大津エンパワねっと」は学生と地域が協働してまちづくりに取り組むプログラムです。

学生力 × 地域力

知る → 見つける → 共有する

since 2007

〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5  
龍谷大学瀬田キャンパス内 大津エンパワねっと(2-202教室)  
TEL:077-543-7691 FAX:077-543-7615  
E-mail: shakaigp@ad.ryukoku.ac.jp  
HP: http://www.soc.ryukoku.ac.jp/gp/index.html

## TOPICS

第5期生 「地域エンパワねっと」報告会

エンパワ  
ねっと  
5  
期生

## 2012年度「地域エンパワねっと」 報告会を開催しました！



【プログラム】

- ・学生による活動発表
- ・ポスターセッション
- ・全体講評

2013年  
1月20日(日)  
9:30～12:30

大津市旧大津公会堂  
3階ホール・  
2階多目的室



今回報告をおこなったエンパワ5期生は、昨年9月から、中央地区の9チーム・瀬田東学区の7チームに分かれて、地域課題や魅力の「発見」に取り組んできました。

4期生までとは異なり、今回の報告会では、前半に全チームが口頭発表を行いました。各チーム3分という短い時間でしたが、自分たちの活動の概要をうまく報告できました。後半のポスターセッションでは、地域の皆さんから直接、アドバイスをいただきました。それらを大切にしながら、次の「地域エンパワねっとII」では、自分達が「発見」した課題を「解決」し、その成果を地域と「共有」するためのプロジェクトに取り組んでいきます。



今回の報告会は、過去の先輩たちの蓄積があるせいでしょうか、地域の皆さんからは、レベルの高いものになっているとの評価をいただきました。「地域エンパワねっとII」ではさらに飛躍してほしいと思います。当日は、地域の皆さんに加えて、大津市役所、滋賀県庁、大津の町家を考える会からもご参加いただきました。さらに、政策学部の学生も参加してくれました。ありがとうございました。

トップの写真は、報告会終了後に撮ったものです。学生だけでなく、教員・職員のみなさんも一緒に写っています。社会学部全体で取り組んでいるエンパワの熱気が、この写真から伝わってくるのではないのでしょうか。

(授業担当教員  
脇田 健一)



※エンパワ5期生…2012年度後期から「地域エンパワねっとII」に取り組んでいる学生たちです。

## TOPICS

第5期生 「地域エンパワねっと」報告会

STEP2 見つける → STEP3 共有する

### 報告会に参加して

＝ご参加いただいた方の感想文より＝

●全体を通じて、各チームのまとめる力が年々向上していることがわかりました。表面的にならないように、焦点を絞った取り組みをしてください。

●防犯、子どものつながり、高齢化問題というテーマが多い。どれもが日本中で課題となっていることですが、学生自身がその状況の社会の中で育ってきており、短期の課題で済まない大きな事であると思います。その事象に気付くだけでも良いのかなと思っています。

●プレゼン後、ポスターセッションの方法は良い。卒業後に役立つ授業に育て欲しい。

●学生は受け身になることなく、「自らが地域の起爆剤になるんだ」という意識を持ち、具体的な取り組みを考え、主体的に活動してほしい。

●社会に出れば、まず現状を知ることが大切。ネットや電話では知ることができない情報や人の思い、動きを体で感じて下さい。現場が重要です。本物がある。

●他の団体同士と一緒に地域の居場所をつくっていくことで、様々な人々に関わる場ができ、それぞれのつながりが強まりお互いが持続可能に発展していくことができればいいなと思いました。

## 「地域エンパワねっと」を終えて

5期生のなかには、高校生のときから「大津エンパワねっと」のことを知り、履修しようと考えていた人もいます。嬉しいですね！どれだけ自覚できているのかわかりませんが、教員の側からみると、「地域エンパワねっとII」の活動のなかで悩み、戸惑いながら、確実に成長されているように思います。春期休暇中も、地域との連携をとりながら、「地域エンパワねっとII」でさらに飛躍してください！

エンパワ5期生が、成長していく姿を見守り、指導をした授業担当教員のメッセージです

5期のグループは、「やりたいこと」で集まるのではなく、「集まった人」でテーマを考えてもらうことにしたため、グループ活動の中で葛藤もあったことと思います。しかし、この過程を乗り越えていくことにも意味があったと考えています。なかにはうまくいかなかったグループもあるでしょうが、それもまた今後の糧にもらえると思います。本当に良かったです。お疲れ様でした。

脇田

山田

ゴールがわからない取り組みは初めてではなかったでしょうか？その上にチームでの作業は、何を共有していいのやら多くの戸惑いや悩みを抱えたことと思います。しかし、こうした戸惑いや悩みに価値があり、チームで曲がりくねった道を歩んだプロセスにこそ意味があります。私は初めて「地域エンパワねっとII」を担当しましたが、大学教育を見直すよい機会となりました。みなさんに出会えたことに感謝しています。

長上

築地

「地域エンパワねっとII」の教科上の狙いは「地域課題の発見」です。実はこの言葉遣いが誤解を与えがちで、学生たちはついつい「地域の困りごと」を探そうとしてしまいます。そこで今年度は、「『伸ばすべきプラスの課題』もあるよ」と、繰り返し強調するようにしました。その成果もあってか、例年に増して多彩な視点から「II」で取り組むべきテーマを見つけられたのではないかと考えています。

## じゅずつなぎ COLUMN

### 出会いこそ自己躍進の源泉



第10回  
エンパワ4期生の  
中山 慧 先輩  
(社会学部  
コミュニティマネジメント学科3年)

同世代以外の方との出会いによって視野が広がり自分を大きく変えたのだと思います。ぜひ皆さんもエンパワで新たな自分へと変革しましょう。

### スケジュール・お知らせ

- ② 18日(月): 大津エンパワねっとを進める会(瀬田東)
- ② 20日(水): 「地域エンパワねっとII」オリエンテーション
- ② 27日(水): 大津エンパワねっと推進委員(学内)
- ③ 1日(金): 大津エンパワねっとを進める会(中央)
- ③ 15日(金): 卒業生を送る会(エンパワ3期生)